第十八回なめがた狂歌第二期入選作品

	作　者（敬称略）	住所（県名）または学校名
孝行をするなら今のうちだよと言わないことに決めているけど	岡本　恵	茨城県常総市
消費税一パーセントにふと思う買いだめするという手もありと	古　子	熊本県熊本市
白衣着て好きで嫁入りしたものの還暦過ぎたが色は染まらず	冨田　幸子	茨城県行方市
包丁のリズムで妻の天気知る今日は荒天打ち寄せる波	小田中　準一	千葉県市川市
妻がキャーすぐに駆けつけ僕はシュー何も言わずにもといた場所へ	石川　淳一	茨城県水戸市
膝痛め回復目指す筋トレに孫はひと言「手遅れじゃない？」	木下　高一	北海道北広島市
先生の教えを守って生きてます「引けないときは借りてきなさい」	鈴木　まい	東京都墨田区
節電ですぐに電気を消す娘大事だけれど俺が居るのに	柚　香	東京都町田市
生きる明日もらった水とあの笑顔泥のなかから前を向く今	宮崎　幸一	千葉県香取市
鉄道の存続協議首長がみんなそろって車で来てる	刹那由他	北海道札幌市
不正して頭を垂れて去ってゆく退職金はきちんともらう	久保田　洋二	茨城県守谷市
あと少し買えば送料無料だと節約のため出費を増やす	福留　瞬	神奈川県川崎市
五歳児の立派な仲裁「けんかはね　せーのでじゃんけん　ぽんでおしまい」	近江董花	滋賀県大津市
問い合せ番号押してまた押して人の声には辿り着けずに	成　宮	千葉県八千代市

ＡＩに僕の仕事が消されるか辛い相談するもＡＩ	サラリーマン金欠太郎	広島県広島市
台風がぼくより元気にやってきた所かまわず遊んでいった	羽生　結翔	茨城県行方市立 麻生小学校　五年
級友とＤＪ気分で磨く床「静かにやれ！」がビートを止める	桑名　優空	福島県郡山市立 大槻中学校　二年
多様性と呼ぶ画面のタイムライン同じ意見を探す指先	小出　結翔	東京都立国立高校
十五歳早いと思うスマホデビュー席にいたのは五歳児二人	宮崎　一誠	佐賀清和高校
帰り道小学生が傘を持ち変身をして世界を救う	工藤　優冴	神戸市立須磨翔風高校
掃除せよ母の一声聞こえれば急に大事な用事ができる	鏑木　真央	神戸市立須磨翔風高校
嫌われぬようにと今日も悩みつつ嫌なものには容赦なき我	古山　夏帆	神戸市立須磨翔風高校
タッチダウン華麗に決まるその陰でボールに触れぬ悲しき巨体	阿部　寛也	日本体育大学
「いいね数」人の価値まで決めるなよ数字じゃ測れぬ人の個性を	安谷屋　悠	日本体育大学
コンビニでアイスを買って半分こくだらない日も好きになれそう	岡元　愛里	日本体育大学
投げられて受け身を覚えまた立って人生だって受け身が大事	榊枝　唯葵	日本体育大学
方言をなおしてみたが地元では変な言葉といわれおちこみ	田中　光翼	日本体育大学